

# 平成26年度 事業報告

## 【公益目的事業】

公1	市民の健康福祉意識の醸成啓発事業、生きがいつくり支援や社会参加の促進に関する事業及び仙台市シルバーセンターの管理運営を行う事業	収益	228,219,228
		費用	230,845,034
		人件費	124,780,899
		物件費	106,064,135

番号	事業名	実施時期	会場	事業形態	
				収益	費用
事業内容					

(単位；円、費用；物件費)

### 1 各種講座の開催

広く市民に生きがい・健康づくりの重要性を普及・啓発するために講演会を実施した。また、学習機会の提供を通じて、高齢者や高齢期以前の市民に対して、生きがいつくり支援や社会参加の促進を目的とした学習機会を提供した。

⑦ 意識啓発講演会	年2回	シルバーセンター	自主事業	
			1,534,400	2,091,340
<p>生きがい・健康づくりにつながる最新の活動や話題を取り上げたイベントを開催し、市民の関心の掘り起こしを図った。</p> <p>①国際電脳七夕まつり「編み物×ICTで復興を応援」(共催) ICT(情報通信技術)を活用した情報の受発信を行うことで新たな社会参加のあり方を考えるシンポジウム等を開催した。 ◆開催日：平成26年8月6日 ◆内容：シンポジウム「編み物×ICTで復興を応援しよう」 ICT×編み物ワークショップ、スマートスクール for キッズ ◆参加者：延べ230人</p> <p>②国連防災世界会議パブリック・フォーラム「高齢者と防災～レジリエンス(回復力)の必要性～」 高齢者の災害に対するレジリエンス(回復力)をテーマとしたシンポジウムや高齢者防災をテーマとした介護福祉機器の展示等を通じて、高齢者の生きがい・健康づくりの新しい方策を被災地仙台から提案するフォーラムを開催した。 ◆開催日：平成27年3月15日 ◆内容：シンポジウム「高齢者と防災」 展示「高齢者防災と介護福祉機器」 被災者支援活動に関する展示・発表・実演 ◆参加者：延べ1,957人</p>				
⑧ 学習機会の提供				
(1) せんだい豊齢学園公開講座	年5回	シルバーセンター	自主事業	
			195,500	80,000
<p>「豊齢化社会づくり」への理解と豊齢学園の一端を紹介するため、学習内容を一般市民にも公開した。</p> <p>①「いきいきコミュニケーション」 ◆開催日：平成26年9月1日 ◆参加者：80人(一般25人、学園生55人)</p> <p>②「仙台の戦国時代」 ◆開催日：平成26年9月29日 ◆参加者：124人(一般69人、学園生55人)</p>				

	③「歌舞伎入門」 ◆開催日：平成26年12月5日 ◆参加者：122人（一般58人、学園生64人） ④「リハビリテーション」 ◆開催日：平成27年1月16日 ◆参加者：101人（一般55人、学園生46人） ⑤「伊達政宗の人物像」 ◆開催日：平成27年2月23日 ◆参加者：241人（一般184人、学園生57人）				
(2)	せんだい豊齢学園短期集中コース	年2期	シルバーセンター	自主事業	
				170,500	40,000
2年制コースで開発した個々のテーマを、より専門性を持たせ、通年の学習機会には参加が難しい市民を対象に提供し、地域づくりや社会参加等の必要性の理解促進及び『豊齢化社会づくり』を担う人材育成を目的として実施した。 ①第1期「仙台の商業の歴史と時代を超えて愛される老舗の魅力」 ◆開催日：平成26年7月17日・18日 ◆参加者：延べ57人 ②第2期「生活が楽しくなる！これからのシニアの健康・いきがづくりとは」 「歴史が好きになる！意外と知らない宮城県の歴史」 ◆開催日：平成27年3月20日 ◆参加者：延べ85人					
(3)	せんだい豊齢学園夏期特別講座	年1回	シルバーセンター	自主事業	
				23,500	20,000
学園の夏休み期間を利用し、世代間交流のできるテーマを提供し、心豊かな生き方の創造に資する講座を開催した。 「芸術を創る喜び 見る喜び」 芸術の営みを美術の中の絵画を中心に宮城県美術館長の講演会を実施した。 ◆開催日：平成26年7月30日 ◆参加者：116人（一般47人、学園生69人）					
(4)	大人の未来学校	年5回	シルバーセンター	自主事業	
				102,000	103,055
生きがいや健康づくり、生活設計等を通し、現在の生活と高齢期のつながりについて考える機会を持つよう、さまざまな角度からテーマを設け、講座を開催した。 ①セルフケアでストレスと上手に付き合おう ◆開催日：平成26年5月24日 ◆参加者：38人 ②読まれる文章講座～プロのライターに聞く表現のツボ～ ◆開催日：平成26年7月12日 ◆参加者：60人 ③NHKドラマ制作者が語る「テレビドラマで人生を描くということ」 ◆開催日：平成26年9月27日 ◆参加者：42人 ④お金から考えるあなたの未来 ◆開催日：平成26年12月6日 ◆参加者：41人 ⑤健口（けんこう）を保ち、健康な未来を！ ◆開催日：平成27年2月7日 ◆参加者：23人					

## 2 高齢者ボランティア等の人材養成

高齢者がこれまで培ってきた知識や経験を社会に還元し、自身の生きがいづくりに加えて、地域社会づくりの重要な担い手となるよう、高齢者ボランティア等の人材を養成した。

㉞ せんだい豊齡学園事業	通年	シルバーセンター	自主事業	
			4,945,000	5,701,520
<p>高齢者向けに社会貢献に資する学習と相互交流の場を提供し、健康・生きがいづくりを支援しながら、豊齡化社会推進を担う人材の養成を図るため、2年制コースの「せんだい豊齡学園」を開設・運営した。</p> <p>◆期間：平成26年5月19日～平成27年2月27日（月・金曜日）</p> <p>◆会場：仙台市シルバーセンター等</p> <p>◆受講生：総合生活コース1年 63人 総合生活コース2年 57人 ふるさと文化コース1年 65人 ふるさと文化コース2年 69人</p> <p>◆学習時間：年間90時間程度。普通講座のほか公開講座、館外学習等を実施した。</p> <p>◆学習内容：[総合生活コース] 現代社会の仕組みや現代文化への理解を深め、健康づくりや生きがいづくり活動を通して、仲間づくりや地域づくりのための知識や実践力を身につけ、地域における介護予防や生きがい支援等の社会貢献活動を担う人材を育成する。 【テーマ】健康づくり、介護予防実践、保健、心理、現代社会、園芸、文学・言語表現、社会貢献 他</p> <p>[ふるさと文化コース] 身近なふるさとの歴史や文化についての学習を通して、地域文化の伝承活動や地域交流活動ができる実践力を身につけ、積極的な社会貢献活動を担う人材を育成する。 【テーマ】郷土の歴史、郷土と文学、文化・民俗、文化財・芸術、社会貢献 他</p> <p>◆被災者支援枠の設定：東日本大震災を起因とする事由により、仙台市内の仮設住宅等入居者の支援対策として、平成25年度に引き続き各コース10人の「被災者支援枠」を設定し、受講料の免除を実施した。</p> <p>◆学園説明会の実施：応募を検討している市民に対して学園の概要等の説明会を実施した。 参加者：64人</p>				
㉟ シニア学び合い講座	通年	シルバーセンター	自主事業	
			696,960	622,783
<p>高齢者がさまざまな活動を通して蓄積した知識や技能を公開・伝承することで、さらに多くの高齢者の社会参加を啓発・支援するとともに、ICT（情報通信技術）を利活用した新しい形での社会参加・交流を提案していくためのコンソーシアムを立ち上げ、事業を実施した。また、講座開催にあたっては、学生の参加など若い世代との交流を図った。</p> <p>①高齢者のための次世代ICT研究会 ◆開催日：平成26年4月25日 ◆講演：「被災者生活再建推進プログラムについて」 ◆発表：「ICTを活用した地域支え合いプロジェクトについて」</p> <p>②シニアのためのスマートフォン教室「スマートスクール@仙台」 ア) 一般市民向け講座 ◆実施回数：4講座 計16回 ◆参加者：延べ286人 イ) フォロワー向け講座（シニア・学生） ◆実施回数：5講座 計13回 ◆参加者：延べ119人</p> <p>③切り絵体験教室 ◆開催日：平成26年8月18日・25日、9月1日 ◆参加者：延べ42人</p> <p>④七夕飾り作成ボランティア体験 ◆開催日：平成26年9月5日・9日・12日・19日 ◆参加者：延べ48人</p> <p>⑤次世代高齢者コンソーシアムせんだい 高齢者のための次世代ICT研究会を発展させた形で設立し、参加団体が実施する被災者支援事業やICTの普及啓発事業に関する取り組み内容の情報を共有し、その事業成果を国連防災世界会議パブリック・フォーラムにおいて発表・報告を行った。 ◆開催日：設立総会 平成26年12月9日、第2回総会 平成27年1月26日、第3回総会 平成27年2月23日 ◆参加団体：12団体</p>				

- ⑥シニアのためのモバイル教室
  - ア)シニア向けタブレット体験講座
    - ◆実施回数：2回
    - ◆参加者：延べ57人
  - イ)らくらくスマートフォン入門講座
    - ◆実施回数：2回
    - ◆参加者：延べ39人
- ⑦書道de英語～ウェルカムボードをつくろう～
  - ◆開催日：平成27年2月21日・28日
  - ◆参加者：延べ25人

### 3 ボランティア団体等の支援

高齢者のボランティア活動の継続・活性化を図り、地域で高齢者を支える仕組みづくりを促進するために、高齢者が主体となり活動を行っているグループを支援するとともに、地域高齢者を対象に活動を行っているボランティア団体を支援した。

⑦ せんだい豊齢ネットワーク支援	通年	シルバーセンター等	自主事業	
			0	1,054,687
シニア活動団体のネットワーク組織である豊齢ネットの運営・活動について各種支援を行った。				
<ul style="list-style-type: none"> <li>①交流サロン運営               <ul style="list-style-type: none"> <li>◆開室日数：201日</li> </ul> </li> <li>②活動拠点の利用               <ul style="list-style-type: none"> <li>ア) ふれあいコーナー                   <ul style="list-style-type: none"> <li>◆利用日数：239日</li> <li>◆利用者：9,537人</li> </ul> </li> <li>イ) 活動コーナー                   <ul style="list-style-type: none"> <li>◆利用日数：174日</li> <li>◆利用者：3,206人</li> </ul> </li> </ul> </li> <li>③会議・交流会の開催               <ul style="list-style-type: none"> <li>◆代表者会議：2回</li> <li>◆推進会議：12回</li> </ul> </li> <li>④太白区役所シニアロビー作品展               <ul style="list-style-type: none"> <li>◆展示期間：平成27年2月24日～3月5日（2/28・3/1は除く）</li> <li>◆内容：和紙ちぎり絵作品展</li> </ul> </li> <li>⑤ネットワーク全体活動               <ul style="list-style-type: none"> <li>ア) ふれあい広場の開催                   <ul style="list-style-type: none"> <li>◆開催回数：10回</li> <li>◆参加団体：豊齢ネット加入団体 延べ95団体</li> <li>◆来場者：延べ3,957人</li> </ul> </li> <li>イ) 仙台市高齢者生きがい健康祭交流広場                   <ul style="list-style-type: none"> <li>◆開催日：平成26年10月4日</li> <li>◆場所：勾当台公園市民広場</li> <li>◆参加団体：豊齢ネット加入団体 4団体</li> </ul> </li> <li>ウ) せんだい豊齢ネットまつりの開催                   <ul style="list-style-type: none"> <li>◆開催日：平成26年11月16日</li> <li>◆参加団体：豊齢ネット加入団体 13団体</li> <li>◆来場者：延べ1,529人</li> </ul> </li> <li>エ) 豊齢ネット・仙台フィルハーモニー管弦楽団協働コンサート「午後のひととき クラシックはいかが」                   <ul style="list-style-type: none"> <li>◆開催日：平成27年2月10日</li> <li>◆入場者：285人</li> </ul> </li> <li>オ) 災害支援ボランティア「NPO法人社会還元センターグループわ」との協働事業                   <ul style="list-style-type: none"> <li>◆開催日：平成26年7月4日</li> <li>◆活動団体：豊齢ネット加入団体 1団体</li> <li>◆参加者：57人</li> </ul> </li> <li>カ) 国連防災世界会議パブリック・フォーラム「高齢者と防災」                   <ul style="list-style-type: none"> <li>◆開催日：平成27年3月15日</li> </ul> </li> </ul> </li> </ul>				

<ul style="list-style-type: none"> <li>◆内 容：日本の文化折り紙体験コーナー</li> <li>◆参加団体：豊齢ネット加入団体 2団体</li> <li>◆参加者：80人</li> </ul>				
㌻) 地域活動ボランティア <ul style="list-style-type: none"> <li>・昔あそび（5月・歴史民俗資料館）</li> <li>・おりづる作製（7月・中央市場商業協働組合）</li> <li>・昔あそび（1月・つつじがおかワイワイ冬まつり）</li> <li>・昔あそび（2月・榴岡小学校）</li> </ul>				
① 仙台市ボランティア団体等先導的 事業助成（ふれあいデイホーム） 説明受付審査等業務	通年	シルバーセンター等	受託事業	
			54,130	54,130
介護保険の要介護（要支援）認定を受けていない高齢者を対象に介護予防等の活動を行うボランティア団体（14団体）に対して、助成申請書類等の説明・受付・審査および研修会の開催等を実施した。 <ul style="list-style-type: none"> <li>①助成交付申請書・実施報告書等の説明・受付・審査</li> <li>②助成ボランティア団体の活動状況確認及び指導のための訪問調査</li> <li>③研修会の開催             <ul style="list-style-type: none"> <li>㊦ 「認知症の方の接し方と地域支援」                 <ul style="list-style-type: none"> <li>◆開催日：平成26年7月8日</li> <li>◆参加者：37人（14団体）</li> </ul> </li> <li>㊧ I 『高齢者のストレッチと「キュッと体操』、II 「平成27年度助成交付申請書について」                 <ul style="list-style-type: none"> <li>◆開催日：平成27年1月21日</li> <li>◆参加者：30人（12団体）</li> </ul> </li> </ul> </li> <li>④仙台市ボランティア団体等先導的助成審査会のための準備業務</li> </ul>				

#### 4 高齢者等の総合相談

多様化・複雑化する高齢者やその家族が抱える悩みに対応するために、生活全般や専門的な問題に関する相談に応じた。

㊦ 高齢者に関する一般相談	通年	シルバーセンター	指定管理事業	
			※	※
<ul style="list-style-type: none"> <li>◆相談日：275日</li> <li>◆利用者：618人（対前年度 100人増）</li> </ul>				
① 専門相談	通年	シルバーセンター	指定管理事業	
			※	※
<ul style="list-style-type: none"> <li>①税務相談             <ul style="list-style-type: none"> <li>◆相談日：12日</li> <li>◆利用者：21人（対前年度 2人増）</li> </ul> </li> <li>②年金相談             <ul style="list-style-type: none"> <li>◆相談日：12日</li> <li>◆利用者：11人（対前年度 7人増）</li> </ul> </li> <li>③法律相談             <ul style="list-style-type: none"> <li>◆相談日：49日</li> <li>◆利用者：104人（対前年度 9人減）</li> </ul> </li> </ul>				

※「8仙台市シルバーセンターの管理運営事業」との共通予算

#### 5 活動の発表の機会の提供

高齢者の生きがいをづくり支援の一環として、創作活動などの趣味やスポーツ活動の継続支援、活動意欲喚起のために発表機会を提供した。

㊦ シルバー創作展	年1回	シルバーセンター	自主事業	
			143,500	1,296,741
<p>高齢者に芸術創作活動の発表の場を提供することにより、生きがいづくりを支援するとともに、市民各層の高齢者に対する理解を深めることを目的に開催した。</p> <p>また、1階アトリウムにて「創作体験コーナー」と「笑顔の花を咲かせようのコーナー」を実施し、子どもから高齢者まで気軽に楽しめる創作体験と世代間交流の場を提供した。</p> <p>◆展示期間：平成26年7月26日～31日（6日間）</p> <p>◆部 門：洋画・日本画・書・写真・工芸・手工芸</p> <p>◆出 品 数：297点（うち招待作家作品9点）</p> <p>◆来 場 者：延べ2,838人</p>				
㊧ 全国健康福祉祭 仙台市参加者等派遣業務	年1回	栃木県（開催地）	受託事業	
			4,886,603	4,886,603
<p>高齢者の生きがい創造や社会参加、世代間交流を通じ、高齢者の自立や魅力ある長寿社会づくりの契機とすべく、厚生労働省、一般財団法人長寿社会開発センター及び開催自治体である栃木県の共催により開催された「第27回全国健康福祉祭とちぎ大会」に仙台市選手団を派遣した。</p> <p>◆大会期間：平成26年10月4日～10月7日</p> <p>◆派遣種目：卓球等20種目</p> <p>◆派遣人員：156人（役員10人含む）</p>				

## 6 普及啓発イベントの開催

高齢者の生きがい・健康づくりや介護予防の必要性を普及啓発するイベントを開催し、参加者自身の生きがい・健康づくりを支援するとともに、新たな活動の契機の場を提供した。

㊦ 仙台市高齢者生きがい健康祭	9月～11月	勾当台公園市民広場等	自主事業（共催事業）	
			※	※
<p>活力ある高齢社会を目指し、日頃から積極的に活動している高齢者や団体を広く市民にアピールするとともに、スポーツや文化活動を通じて交流を図り、健康づくりや社会参加の機会を提供し、生きがいのある高齢社会の実現を目的とするイベントを仙台市・仙台市高齢者生きがい健康祭実行委員会・当事業団の3者共催により開催した。</p> <p>また、市民広場交流事業では、「介護予防月間」のPRイベントとして、介護予防関連の企画も実施した。</p> <p>①競技種目交流大会</p> <p>◆期 間：平成26年9月5日～11月30日</p> <p>◆会 場：仙台市内体育館等</p> <p>◆競 技 数：17種目</p> <p>◆参 加 者：1,949人</p> <p>②市民広場交流事業</p> <p>◆開 催 日：平成26年10月4日</p> <p>◆会 場：勾当台公園市民広場</p> <p>◆来 場 者：10,000人</p>				
㊧ 介護予防月間実施業務	11月	シルバーセンター	受託事業	
			361,990	361,990
<p>仙台市では介護予防の普及啓発活動を強化するため、11月を介護予防月間とし、これらの活動を広く市民に啓発するため、各関係機関や地域団体等と協同・連携し、講演会や体験イベント等を開催した。</p> <p>仙台市介護予防月間オープニングイベント</p> <p>◆開 催 日：平成26年11月9日</p> <p>◆会 場：仙台市シルバーセンター</p> <p>◆内 容：講演「いろいろな脳卒中とその予防～予防のための生活改善策とは～」</p> <p>「わっはっはでストレス発散!お話しと笑いの体操～拍手と万歳と簡単な顔の体操～」</p> <p>教室「健康運動教室（大人のための骨盤調整ヨガ・青竹ふみふみピクス・シニアステップアップ運動教室・キュッと体操）」</p> <p>講座「スマートスクール@仙台市介護予防月間～スマホ体験講座～」、「かぎ針編みで作るお花のコサージュ」、「オリジナルのマッサージオイル作り・アロマハンドマッサージ」、「コーヒーを片手に楽しく学ぶ 英会話入門講座」</p>				

健康測定・健康づくり相談コーナー（血圧測定、骨密度測定、体脂肪測定、口腔機能測定、運動機能チェック、口腔相談、栄養相談、健康相談、もの忘れ相談、介護予防サービスの紹介、防火のご紹介）  
 物産コーナー（復興物産市、新鮮野菜・手作り品等の販売）  
 体験コーナー（タブレット、ラテアート）、懐かしのせんだい・みやぎ映像コーナー

◆来場者：延べ1,515人

※仙台市高齢者生きがい健康祭は、仙台市から実行委員会へ交付される負担金にて開催した。

## 7 情報誌の発行

高齢者を中心とした広く市民に対して、健康福祉に関する意識啓発を図った。また、各種事業の参加者募集やシルバーセンターの紹介を行った。

⑦ 健康福祉情報誌 「げんき倶楽部 杜人」の発行	年12回	仙台市内外各所で 配布	自主事業	
			0	59,040
広く市民に生きがい・健康づくりの重要性を普及啓発するために、関連テーマを取り上げた情報誌を発行し、豊齢化社会の実現に向けた情報の発信を行った。 ◆発行日：毎月末日 ◆発行部数：840,000部（A4冊子版70,000部×12回）				
⑧ シルバーセンターだより 「あばいん」の発行	年12回	仙台市内公共施設等 で配布	指定管理事業	
			673,078	673,078
広く市民にシルバーセンターを周知するため、シルバーセンターだより「あばいん」を発行した。 ◆発行日：毎月1日 ◆発行部数：42,000部（A3判二つ折り3,500部×12回）				

## 8 仙台市シルバーセンターの管理運営事業

福祉団体等の活動活性化を図るための研修室等の貸出、高齢者等の健康保持増進を図るための温水プール等の提供、シルバーセンターの維持管理を行った。

⑦ ホール・研修室等の貸出 温水プール等の利用提供 センターの維持管理	通年	シルバーセンター	指定管理事業																									
			89,019,168	89,019,168																								
①ホール・研修室等の貸出 ◆貸出日数：342日 ◆対象：福祉団体及び福祉目的の催事 ◆利用状況：																												
<table border="1"> <thead> <tr> <th>施設名</th> <th>利用件数（対前年度）</th> <th>利用人数（対前年度）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>交流ホール</td> <td>55件（14件減）</td> <td>6,483人（2,391人減）</td> </tr> <tr> <td>第1研修室</td> <td>255件（12件増）</td> <td>14,848人（94人減）</td> </tr> <tr> <td>第2研修室</td> <td>281件（33件増）</td> <td>11,558人（194人増）</td> </tr> <tr> <td>第3研修室</td> <td>285件（12件減）</td> <td>2,892人（616人減）</td> </tr> <tr> <td>和室</td> <td>198件（32件減）</td> <td>1,989人（611人減）</td> </tr> <tr> <td>会議室</td> <td>232件（34件増）</td> <td>2,305人（191人増）</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>1,306件（21件増）</td> <td>40,075人（3,327人減）</td> </tr> </tbody> </table>					施設名	利用件数（対前年度）	利用人数（対前年度）	交流ホール	55件（14件減）	6,483人（2,391人減）	第1研修室	255件（12件増）	14,848人（94人減）	第2研修室	281件（33件増）	11,558人（194人増）	第3研修室	285件（12件減）	2,892人（616人減）	和室	198件（32件減）	1,989人（611人減）	会議室	232件（34件増）	2,305人（191人増）	合計	1,306件（21件増）	40,075人（3,327人減）
施設名	利用件数（対前年度）	利用人数（対前年度）																										
交流ホール	55件（14件減）	6,483人（2,391人減）																										
第1研修室	255件（12件増）	14,848人（94人減）																										
第2研修室	281件（33件増）	11,558人（194人増）																										
第3研修室	285件（12件減）	2,892人（616人減）																										
和室	198件（32件減）	1,989人（611人減）																										
会議室	232件（34件増）	2,305人（191人増）																										
合計	1,306件（21件増）	40,075人（3,327人減）																										
②温水プール・浴室・サウナの利用提供 ◆貸出日数：306日 ◆対象：60歳以上の高齢者及び障害者 ◆利用者：44,322人（対前年度3,763人減）																												
③センターの維持管理業務 ◆内容：市民が安全に利用できるよう、センターを良好な状態に維持管理した。																												

公 2	市民の健康づくり支援に関する事業及び仙台市健康増進センターの 管理運営を行う事業	収益	192,368,948
		費用	193,257,941
		人件費	111,480,350
		物件費	81,777,591

番号	事業名	実施時期	会場	事業形態	
				収益	費用
事業内容					

(単位；円、費用；物件費)

## 1 各種教室の開催

生活習慣病や肥満の原因となる運動不足や不規則な食生活、要介護状態につながる運動機能の低下を予防・改善することを目的として、各種教室を開催した。

㊦ 生活習慣病予防・改善講座					
(1)	栄養講座	年3期	健康増進センター	指定管理事業	
				605,980	605,980
<p>生活習慣病を予防する食生活について、栄養バランスの整え方、減塩方法等を講話と調理実習により啓発した。</p> <p>①「ごはんde健康セミナー～健幸弁当★体に優しいコツは3・2・1編～」</p> <p>◆実施日：平成26年5月31日、6月1日</p> <p>◆参加者：25人</p> <p>②「ごはんde健康セミナー～塩加減の良いかげん編～」</p> <p>◆実施日：平成26年11月28日・29日</p> <p>◆参加者：29人</p> <p>③「やさいde健康セミナー～ベジタブルスイーツで体に優しいおやつタイム編～」</p> <p>◆実施日：平成27年1月30日・31日</p> <p>◆参加者：26人</p>					
(2)	生活習慣病予防教室	通年	健康増進センター	指定管理事業	
				※1	※1
<p>運動器の障害・機能低下、高血圧を予防することを目的に、運動の知識・方法を伝え、日常生活において実施するためのきっかけづくりを行った。</p> <p>①ロコモティブシンドローム予防教室</p> <p>1)腰痛予防編</p> <p>◆実施回数：3回×2期</p> <p>◆参加者：43人(延べ115人)</p> <p>2)膝痛予防編</p> <p>◆実施回数：3回×2期</p> <p>◆参加者：48人(延べ130人)</p> <p>②高血圧予防教室</p> <p>◆実施回数：2回×1期</p> <p>◆参加者：14人(延べ24人)</p>					
㊦	障害者健康づくり教室	通年	地下鉄沿線施設等	指定管理事業	
				420,391	420,391
<p>健康づくりの地域拠点を展開するとともに、対象別に利用形態の異なる教室を実施した。また、健康づくり運動支援者養成研修(人材養成事業)修了者を支援者として活用した。</p> <p>①地域拠点型教室・地域拠点型プレ教室</p> <p>◆対象者：障害者(個人)</p> <p>◆回数等：40回×3会場(シルバーセンター、健康増進センター、仙台市体育館) 6回×1会場(若林障害者福祉センター(プレ教室))</p> <p>◆参加者：50人(延べ1,223人)</p>					



②地域拠点型教室(夕暮れエクササイズ)

- ◆対象者：若年知的障害者（13歳～概ね30歳）
- ◆回数等：38回×1会場（健康増進センター）
- ◆参加者：延べ279人

③地域拠点型教室（団体）

- ◆対象者：障害者団体・グループ
- ◆回数等：月1回×1～4団体 計60回
- ◆参加者：延べ590人

④施設支援型教室

- ◆対象者：障害者及び施設職員（施設型）  
生徒及び教職員（支援学校）
- ◆回数等：9回×1会場（施設型 ワーキングギルド花梨）  
18回×2会場（光明支援学校、小松島支援学校）
- ◆参加者：延べ163人（施設型）  
延べ235人（支援学校）

㊦ 高齢者運動教室

健康づくりや介護予防の啓発等を目的として、元気高齢者、後期高齢者、虚弱高齢者等を対象に、高齢者運動教室を開催し、修了後は地域の自主サークルとのネットワークを活用し、運動の継続を支援した。

(1) 高齢者運動教室	通年	シルバーセンター	自主事業	
			8, 117, 342	8, 200, 955
<p>①シニア元気あっぷ運動教室</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆対象：満60歳以上の市民</li> <li>◆実施回数：350回（9回×10コース×3期、8回×10コース×1期）</li> <li>◆参加者：1,309人（延べ9,645人）</li> </ul> <p>②はつらつ運動教室</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆対象：満80歳以上の市民</li> <li>◆実施回数：128回（9回×4コース×1期、8回×4コース×2期、7回×4コース×1期）</li> <li>◆参加者：369人（延べ2,329人）</li> </ul> <p>③楽しく運動教室</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆対象：満65歳以上の体力に自信のない市民</li> <li>◆実施回数：35回（9回×1コース×3期、8回×1コース×1期）</li> <li>◆参加者：109人（延べ733人）</li> </ul> <p>④チャレンジ運動教室</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆対象：概ね55歳～64歳の市民</li> <li>◆回数等：23回</li> <li>◆参加者：39人（延べ221人）</li> </ul> <p>⑤高齢者運動教室公開講座</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆テーマ：知っておきたい尿もれ予防の話～尿もれを予防して姿勢もなおそう～</li> <li>◆対象：一般市民</li> <li>◆開催日：平成26年6月27日</li> <li>◆参加者：187人</li> </ul> <p>⑥サロン活動</p> <p>ア) はつらつ・楽しく運動教室日帰り旅行会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆対象：高齢者運動教室参加者</li> <li>◆実施日：平成26年10月21日</li> <li>◆参加者：39人</li> </ul> <p>イ) はつらつ運動教室合同食事会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆対象：高齢者運動教室参加者および家族</li> <li>◆実施日：平成26年12月18日</li> <li>◆参加者：34人</li> </ul>				

(2)	高齢者運動教室	通年	健康増進センター	指定管理事業	
				957,316	957,316
<p>①いずみ元気あっぷ運動教室</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆対象：満60歳以上の市民</li> <li>◆実施回数：105回（10回×3コース、9回×3コース×2期、7回×3コース）</li> <li>◆参加者：延べ2,519人</li> </ul> <p>②シニアステップアップ運動教室</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆対象：概ね60歳以上の市民</li> <li>◆実施回数：46回×2コース</li> <li>◆参加者：2,458人</li> </ul> <p>③いずみ楽しく運動教室</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆対象：体力に自信のない満65歳以上の市民または満80歳以上の市民</li> <li>◆実施回数：41回（10回×3コース×3期、11回×1コース×1期）</li> <li>◆参加者：109人（延べ956人）</li> </ul>					

※1「㉞(1)栄養講座」との共通予算

## 2 運動支援者・指導者の人材養成

障害者の健康増進、高齢者の介護予防を支援するために必要な運動に関する知識・技術・実践力の習得、支援者・指導者の養成を目的とした研修会を開催した。

㉞ 障害者運動サポーター養成研修会	通年	健康増進センター等	指定管理事業	
			19,000	19,000
<p>①養成研修会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆実施時期：平成26年6月～7月</li> <li>◆対象：ウェルネスホープ会員、障害者スポーツ協議会会員、泉区ボランティア（個人・団体）</li> <li>◆実習内容：障害者健康づくり支援の方法（講話と実技）</li> <li>◆実施回数：6回</li> <li>◆参加者：延べ88人</li> </ul> <p>②サポーター活用</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆対象：障害者運動サポーター</li> <li>◆実習内容：障害者健康づくり運動教室</li> <li>◆実施回数：118回</li> <li>◆参加者：延べ234人</li> </ul>				
㉟ 健康づくり運動サポーター養成研修会	年3回	健康増進センター等	指定管理事業	
			※1	※1
<p>健康づくり運動サポーター自主グループ“ウェルネスホープ”を対象に、研修と支援を行った。</p> <p>①スキルアップ研修会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆実施日：平成27年2月4日</li> <li>◆実施内容：体力測定実施方法</li> <li>◆参加者：19人</li> </ul> <p>②サポーター活用</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆実施内容：高齢者運動教室、公開講座等</li> <li>◆実施回数：33回</li> <li>◆参加者：延べ88人</li> </ul> <p>③自主活動支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆実施内容：講師派遣、連絡、調整、会場支援、役員会</li> <li>◆実施回数：31回</li> <li>◆参加者：延べ250人</li> </ul>				
㊱ 指導者研修会	年2回	健康増進センター等	指定管理事業	
			※1	※1
<p>①健康づくり指導者研修会（日本健康指導士会宮城県支部との共催）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆実施日：平成26年11月3日</li> </ul>				

◆対 象：健康運動指導士、健康運動実践指導者
◆参 加 者：60人
②青葉区民体育振興会
◆実 施 日：平成27年2月14日
◆実施内容：健康づくりのための栄養と運動（講話と実技）
◆参 加 者：67人（事前打合せ4人）
③KHKスポーツクラブASPA役員
◆実 施 日：平成26年11月12日
◆実施内容：体力測定実施方法
◆参 加 者：4人
④地域障害者健康づくり運動支援者養成研修会
◆実 施 日：平成27年3月5日
◆対 象：障害者施設職員
◆参 加 者：14人

㊤ 介護予防支援者研修会	年 2 回	市民センター等	自主事業	
			0	358,309

地域で介護予防の支援を行っている方を対象に、介護予防に関する運動実践のための知識や技術の習得を目的とした研修会を開催した。				
①介護予防支援者研修会（NPO法人健康づくり推進機構B T B共催）				
◆実 施 日：平成26年11月26日・平成27年3月16日				
◆対 象：介護予防の運動支援者				
◆実施回数：4回（各日2回）				
◆参 加 者：198人				
②情報提供				
◆内 容 等：資料提供 54件 4,958部（うち キュッと体操リーフレット 651部）				

㊦ 介護予防自主グループ支援事業 （介護予防運動サポーター養成研修会）	通年	シルバーセンター等	受託事業	
			1,242,102	1,242,102

地域の介護予防を支援する介護予防自主グループサポーターの養成研修及び活動を支援した。				
①新規サポーター養成事業				
◆実施回数：5区及び1支所 計59回				
◆参 加 者：延べ814人				
②追加サポーター養成研修事業				
◆実施回数：5区及び2支所 計15回（青葉区、宮城野区、若林区、宮城総合支所は①と合同）				
◆参 加 者：延べ451人				
③スキルアップ研修				
◆実施回数：青葉区を除く4区及び2支所 計39回				
◆参 加 者：延べ994人				
④「杜の都のおトク体操」の普及啓発（CD配布・資料配布）				
◆件 数：介護予防自主グループ 20 件				
⑤「キュッと体操」の普及啓発（リーフレット作成、配布）				
◆配 布 先：地域包括支援センター、介護予防自主グループ、地域高齢者				
◆配布部数：1,133 枚				

※1「㊦障害者運動サポーター養成研修会」との共通予算

### 3 健康づくりに関する相談・支援

生活習慣病の発症リスクが高い人や障害者、高齢者が主体的に継続して健康づくりに取り組むことができるように、生活習慣や運動に関する相談・支援を行った。

㊧ 特定保健指導事業	随時	健康増進センター	指定管理事業	
			0	0

職域保険者からの依頼に応じた特定保健指導（積極的支援業務）の実施を計画した。				
◆対 象：積極的支援対象者で指導を希望する者				
◆件 数：0件				

① 障害者健康づくり支援事業	通年	健康増進センター等	指定管理事業	
			※1	※1
<p>障害者支援教室修了者等を対象に、必要に応じたフォローアップや継続支援（施設支援・個別支援）を行った。</p> <p>◆対象：障害者施設（はまゆう、つどいの家、すまいる作業所、ワーキングギルド花梨）</p> <p>◆実施内容：・運動実技及び栄養講話 4施設 計13回 延べ208人 ・電話等による状況確認 1施設</p>				
⑦ 運動自主グループ活動支援事業	通年	市民センター等	自主事業	
			※2	※2
<p>地域の社会資源である運動自主グループの活動継続を支援し、地域の介護予防に寄与した。</p> <p>◆対象：21グループ（会員 677人）</p> <p>◆実施内容：・情報提供（おトク通信）年4回 21グループ ・世話人会 1回 16グループ 30人 ・会員の募集と入会支援 紹介件数 3件 ・健康講話 1グループ 19人 ・巡回支援 2グループ 74人</p>				
⑤ 介護予防プログラム強化事業	通年	シルバーセンター等	受託事業	
			72,158	72,158
<p>介護予防施策の委託事業として実施される、通所型介護予防事業のサービスの質の確保及び向上を図った。</p> <p>①介護予防事業者基礎研修</p> <p>◆内容：仙台市内における介護予防事業者を対象とした研修会</p> <p>◆回数：年1回</p> <p>◆参加者：65人</p> <p>②通所型介護予防事業者訪問（運動器向上プログラム）</p> <p>◆内容：事業者を訪問し、事業の確認及び事業者との意見交換を行い、必要に応じて助言、指導を行った。</p> <p>◆回数：年4回</p> <p>◆参加者：延べ21人</p> <p>③プレ運動教室モデル事業</p> <p>◆内容：豊齢力チェックリストで運動の項目に該当した二次予防対象者へプレ運動教室のモデル事業を実施した。</p> <p>◆回数：年12回</p> <p>◆参加者：延べ69人</p> <p>④企画会議</p> <p>◆内容：関係機関・団体による事業検討及びプレ運動教室モデル事業打ち合わせを行った。</p> <p>◆回数：年5回</p>				
④ 健康づくり支援プラン事業	通年	健康増進センター等	指定管理事業	
			5,587,184	5,587,184
<p>健康度測定（4コース）を実施するとともに、その結果に基づいた健康づくり支援プランの作成や継続的な健康づくりの支援及び事後評価を行った。また、支援プラン作成者を対象に、健康づくりの継続支援を目的とした講座を実施した。</p> <p>①健康づくり支援プラン作成</p> <p>◆実施日数：83日</p> <p>◆実施内容：・総合コース 52人 ・簡易コース 94人（障害者51人、高齢者17人、一般26人） ・身体活動コース 134人（障害者69人、高齢者38人、一般27人） ・食生活コース 6人（障害者3人、高齢者2人、一般1人）</p> <p>②継続支援講座</p> <p>◆実施日数：147日</p> <p>◆利用者：延べ3,024人（障害者2,176人、高齢者583人、一般265人）</p> <p>③生活習慣病重症化・合併症予防事業</p> <p>◆内容：循環器疾患の危険因子である高血圧を予防・改善するための「減塩プログラム開発モデル事業」プレテストを実施した。</p> <p>◆回数等：1回 12人</p>				

④健康相談

- ◆内 容：医師による健康相談
- ◆回数等：13回 35人

※1「1④障害者健康づくり教室」との共通予算

※2「2⑤介護予防支援者研修会」との共通予算

4 活動の発表の機会の提供

日頃の健康づくりや介護予防に関する活動の継続支援、活動意欲の喚起を図ることを目的に、発表機会の提供を行った。また、世代間交流を通じて介護予防への理解を広げた。

⑦ 仙台市高齢者生きがい健康祭 はつらつ健康フェスティバル	年1回	仙台市体育館	自主事業	
			245,700	400,470
<p>生きがい健康づくりの一環として、地域の市民センターや体育館で各種ダンス等の活動を行っているグループに対し発表の場を提供した。また、世代間交流及び若い世代へ向けても介護予防の理解・啓発を目的として参加発表の場を提供した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆開催日：平成26年9月7日</li> <li>◆対象：仙台市内を拠点とするグループ</li> <li>◆参加者：35グループ 1,150人</li> <li>◆発表者：17演技 791人</li> <li>◆特別出演団体：2グループ 37人</li> </ul>				

5 地域展開・普及啓発

地域や企業、障害者団体等の依頼に応じた職員派遣、教室開催等を通じて、生活習慣病の予防・改善、障害者の健康増進、高齢者の介護予防の重要性の普及啓発等を行った。

⑦ 調査・研究・開発					
(1)	健康づくり応援事業 (生活習慣病予防・改善)	通年	健康増進センター	指定管理事業	
				※1	※1
<p>①健康づくり支援プラン参加者追跡調査 健康づくり支援プラン参加者の目標達成度について半年後の結果をふまえ分析を行い、今後のプログラム開発に繋げた。</p> <p>②講座プログラム、ツール等の開発 企業と共同し、四季に応じた栄養バランスメニュー“ヘルシーランチプレート”を開発した。</p> <p>③ウォーキングマップの作成 生活習慣病予防を目的に健康情報を盛り込んだウォーキングマップ（泉区版）を作成した。</p>					
(2)	調査・研究・開発 (生活習慣病予防・改善)	通年	健康増進センター	指定管理事業	
				※1	※1
<p>生活習慣病重症化・合併症予防事業参加者を対象に、生活改善プログラムの理解や実践状況について分析し、生活習慣指導（栄養・運動）のツールの開発を行うことを目的にプレテストを行った。</p>					
(3)	調査・研究・開発 (障害者の健康増進)	通年	—	指定管理事業	
				※2	※2
<p>若林区内における社会資源や障害者施設での健康づくりへの取組状況の調査を実施した。また、障害特性を考慮した運動プログラムや体力測定法、ツールの開発を引き続き行った。</p>					
(4)	ネットワーク事業	通年	区役所等	指定管理事業	
				※2	※2
<p>障害者を地域で支援する関係機関とのネットワーク会議に参加し情報交換や連携を進めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆実施内容：各区ネットワーク会議等への参加 5区 計88回</li> </ul>					

① 地域展開・出前講座						
(1)	出前講座 (生活習慣病予防・改善)	年約30回	仙台市内	指定管理事業		
				※1	※1	
健康づくりの啓発・支援を目的に職員派遣を行った。 ◆対 象：市民及び職域 ◆実施回数：10回 ◆利 用 者：914人						
(2)	障害者団体出前講座等	通年	仙台市内	指定管理事業		
				※2	※2	
①障害者団体出前講座 障害者の健康づくりを啓発・支援することを目的に職員派遣を行った。 ◆対 象：障害者、施設職員、障害者を支援する方等 ◆実施回数：12回 ◆利 用 者：431人 ②三所連携事業（いず☆ちゅう健幸祭） 障害者総合支援センター、発達相談支援センターと連携したイベントを開催した。 ◆実 施 日：平成26年11月15日 ◆内 容：講演会、健康づくり教室体験、各種測定体験、福祉用具展示、スタンプラリー等 ◆利 用 者：参加実数550人						
(3)	出前講座（高齢者の介護予防）					
	①出前講座	年25回	仙台市内	自主事業		
				※3	※3	
	介護予防の地域づくり支援を目的に職員派遣を行った。 ◆対 象：町内会、市民センター（老壮大学）等 ◆実施回数：17回 ◆利 用 者：1,264人					
②市営住宅介護予防運動教室事業	通年	市営住宅集会所等	自主事業			
地域における新たな健康づくり・介護予防の創設を目的として、公営住宅の集会所等を活用した介護予防運動教室を計画した。 ◆対 象：市営住宅住民 ◆内 容：準備検討 ◆実施回数：3回						
0						
0						
⑦ ふれあい広場でストレッチ	年12回	シルバーセンター	自主事業			
			0	※4		
介護予防の普及啓発、運動実践を目的とした単発の運動教室を開催した。 ◆対 象：概ね60歳以上の方 ◆実施回数：10回 ◆利 用 者：延べ175人						
⊕ 被災者向け介護予防運動教室事業						
(1)	被災者向け介護予防運動教室事業	通年	仙台市内	受託事業		
				536,203	536,203	
東日本大震災による被災地域において、高齢者の健康づくりや介護予防支援を目的とし、運動をはじめとした支援（生活・栄養・口腔）を地域に出向いて実施した。また、区や関係機関と連携し、課題や情報の共有、地域のサポーターやボランティア活動の支援を行った。 ①仮設住宅介護予防健康づくり教室 ◆実施回数：泉区除く4区（7ヶ所） 計145回 ◆参 加 者：延べ1,316人 ②ツールの作成・配布 ◆実施内容：リーフレットの配布 73部						

③地域ボランティアへの支援 ・3ヶ所 ④健康運動支援ネットワークの構築 ・被災地健康運動情報ネットワーク仙台みやぎ（UNDA）の事務局として会議を6回開催 ・国連防災世界会議パブリック・フォーラム「高齢者と防災」 ◆シンポジウム 290人 ◆展示、体験 200人 ◆体操教室 79人 ・若林区復興の輪ミーティング（支援者交流会）への参加					
(2)	被災者住宅 介護予防運動教室事業	通年	被災者住宅 集会所等	自主事業	
	地域における新たな健康づくり・介護予防活動の創設を目的として、区保健福祉センターと協働し被災者住宅の集会場等を活用した介護予防運動教室を開催した。 ◆実施回数：13回×2期 ◆参加者：延べ401人			0	9,261
④	介護予防体操、運動道具の普及・販売	通年	—	自主事業	
				285,960	※3
①介護予防体操の普及 音楽に合わせて安全で気軽にできる体操「杜の都のおトク体操」の普及を行った。 ◆実績：仙台市高齢者生きがい健康祭、はつらつ健康フェスティバルでの体操の実施 CD販売 12枚 リーフレット提供 7件 337枚 ②運動用具の取次販売 運動自主グループへ運動用具の取次ぎ販売を行い、介護予防の実践活動を支援した。 ◆実績：運動用具の取次ぎ 年2回 342件 機材・用具貸出 2件					

- ※1「1㉞(1)栄養講座」との共通予算
- ※2「1㉞障害者健康づくり教室」との共通予算
- ※3「2㊸介護予防支援者研修会」との共通予算
- ※4「1㉞(1)高齢者運動教室」との共通予算

## 6 仙台市健康増進センターの管理運営

上記1～5の公益目的事業を実施するにあたっての拠点施設となる仙台市健康増進センターを良好な状態に保てるよう維持管理を行った。

㉞ 施設運営事業	通年	健康増進センター	指定管理事業	
			63,368,262	63,368,262
施設・設備の管理業務等を行った。				

公3 高齢者等の介護に関する研修、相談及び情報提供を行う事業	収益	49,578,437
	費用	49,791,110
	人件費	33,486,190
	物件費	16,304,920

番号	事業名	実施時期	会場	事業形態	
				収益	費用
事業内容					

(単位；円、費用；物件費)

### 1 介護講座の開催

家庭で実際に介護をしている方や市民を対象に、介護に必要な知識や技術の習得を目的とした介護講座を開催した。

⑦ 市民向け介護講座	通年	シルバーセンター	指定管理事業	
			8,960,074	8,960,074

- ①知って役立つ福祉用具講座
  - ◆内 容：福祉用具展示室を利用し、機器の特性や使い方を学ぶ講座
  - ◆実施回数：4回
  - ◆参加者：51人
- ②介護1日講座
  - ◆内 容：介護実習等を通して、介護の基本的な知識・技術を1日で学ぶ講座
  - ◆実施回数：5回（※台風により1回中止）
  - ◆参加者：234人
- ③介護ライター講座
  - ◆内 容：日中の受講が難しい市民を対象とした、介護の知識・技術を学ぶ講座
  - ◆実施回数：3回
  - ◆参加者：136人
- ④土曜介護講座
  - ◆内 容：平日の受講が難しい市民を対象とした、介護の知識・技術を学ぶ講座
  - ◆実施回数：3回
  - ◆参加者：165人
- ⑤サラリーマン介護講座
  - ◆内 容：働き盛りの方を対象とした、介護の知識・技術を学ぶ講座
  - ◆実施回数：3回
  - ◆参加者：149人
- ⑥地域介護講座
  - ◆内 容：市民センターと共同で開催する、介護の知識・技術を学ぶ講座
  - ◆実施回数：4回
  - ◆参加者：70人
- ⑦認知症を理解する
  - ◆内 容：認知症を理解し、医学的な知識や社会資源の活用、地域での支援を学ぶ講座
  - ◆実施回数：4回
  - ◆参加者：381人
- ⑧テーマ別介護講座
  - ◆内 容：テーマ毎に介護についての考え方や介護の知識・技術を学ぶ講座
  - ◆実施回数：8回
  - ◆参加者：537人



<p>⑨ターミナルケアを学ぶ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆内 容：看取りについての理解を深め、その支援等を学ぶ講座</li> <li>◆実施回数：2回</li> <li>◆参加者：205人</li> </ul> <p>⑩学校向け介護体験講座</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆内 容：高齢者、障害者、認知症の方への理解を深めたいと考えている小学校・中学校・高校に出張で行う講座（高齢者疑似体験、車いす体験、認知症の方との接し方）</li> <li>◆実施回数：10回（9校）</li> <li>◆参加者：948人</li> </ul> <p>⑪福祉用具体験講座</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆内 容：10人以上の希望する団体を対象に行なう、福祉用具の選び方・使い方等を学ぶ講座</li> <li>◆実施団体：2団体</li> <li>◆参加者：158人</li> </ul> <p>⑫ふれあい広場福祉用具展示</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆内 容：ふれあい広場に福祉用具の展示コーナーを設置し、福祉用具の選び方、使い方などの体験</li> <li>◆実施回数：4回</li> <li>◆参加者：292人</li> </ul>			
⑦ 介護の日記念行事	年2回	シルバーセンター	指定管理事業
		※ ※	
<p>「福祉用具の日」記念イベント・「介護の日」記念行事</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆内 容：10月1日の「福祉用具の日」・11月11日の「介護の日」を記念して行なう、セミナー・講演会の開催、福祉用具の特別展示</li> <li>◆実施回数：各1回</li> <li>◆参加者：609人（「福祉用具の日」記念イベント 461人、「介護の日」記念行事 148人）</li> </ul>			

※「⑦市民向け介護講座」との共通予算

## 2 介護職の人材養成

介護職を対象に、認知症高齢者をはじめとした要介護者の介護に必要な知識や技術の習得・向上、将来の介護職養成を目的とした研修を開催した。

⑦ 認知症介護研修	通年	シルバーセンター	受託事業	
		5,359,271		5,359,271
<p>介護職員等を対象に、認知症高齢者を介護するために必要な知識や技術の習得・向上を目的とした研修を開催した。</p> <p>①認知症介護実践者研修</p> <p>認知症高齢者の介護に必要な知識・技術を習得し、介護現場で実践能力を発揮できる人材を養成した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆内 容：講義演習5日、外部実習1日、職場実習4週間、報告会1日</li> <li>◆対 象：実務経験2年以上の市内介護保険施設・事業者等に従事する介護職員等</li> <li>◆実施回数：4回</li> <li>◆参加者：223人</li> </ul> <p>②認知症介護実践リーダー研修</p> <p>介護現場の実践リーダーとして、チームケアを推進し、認知症介護の理念を介護現場で展開できる人材を養成した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆内 容：講義演習7日、外部実習4日、職場実習4週間、報告会1日</li> <li>◆対 象：実務経験5年以上の市内介護保険施設・事業者等に従事する介護職員等</li> <li>◆実施回数：1回</li> <li>◆参加者：32人</li> </ul>				

① 認知症対応型サービス事業 管理者研修	年2回	シルバーセンター	受託事業	
			※1	※1
<p>認知症の基本理念・基礎知識を習得した管理者として予定される者に、総括的に事業所を管理運営できる力を養成した。</p> <p>◆内 容：講義演習2日</p> <p>◆対 象：地域密着型サービス事業所の管理者または管理者に就任予定の介護職員等</p> <p>◆実施回数：2回</p> <p>◆参加者：53人</p>				
⑦ キャラバン・メイト養成研修	年1回	シルバーセンター	受託事業	
			※1	※1
<p>認知症サポーター養成講座の講師役であるキャラバン・メイトを養成した。</p> <p>◆内 容：認知症の症状・予防、認知症の人と接するときの心構え、認知症サポーター養成講座の運営方法等</p> <p>◆対 象：地域包括支援センター職員、認知症介護実践リーダー研修等を修了した者</p> <p>◆実施回数：1回</p> <p>◆参加者：45人</p>				
⑤ 難病患者等ホームヘルパー養成研修	年1回	シルバーセンター	受託事業	
			133,996	133,996
<p>難病患者等に、より適切なホームヘルプサービスを提供できるホームヘルパーを養成した。</p> <p>◆内 容：難病の症状やケアに関する医学知識、医療・保険・福祉制度、本人の心理、家族の理解</p> <p>◆対 象：難病患者等のホームヘルプ事業に従事している介護職員または今後従事予定の介護職員</p> <p>◆実施回数：1回</p> <p>◆参加者：54人</p>				
④ 介護職スキルアップ研修	年11回	シルバーセンター	自主事業	
			1,469,958	1,851,579
<p>介護業務に必要な知識・技術の習得及び意識の高揚を図り、介護職としての資質向上を図るための研修を実施した。</p> <p>◆内 容：介護技術実習、精神疾患の理解と対応、認知症の理解と対応、ターミナルケア等</p> <p>◆対 象：市内福祉関係事業所の介護職員等</p> <p>◆実施回数：11回</p> <p>◆参加者：730人</p>				
⑥ 介護福祉士国家試験 事前実技試験講習会	年1回	シルバーセンター	自主事業	
			232,000	※2
<p>介護福祉士国家試験実技試験に必要な知識・技術を身につけ、介護福祉士の育成に資するための講習会を実施した。</p> <p>◆内 容：実技試験の模範実技、実習・解説等2日</p> <p>◆対 象：筆記試験を受験した方</p> <p>◆実施回数：1回</p> <p>◆参加者：29人</p>				

※1「⑦認知症介護研修」との共通予算

※2「④介護職スキルアップ研修」との共通予算

### 3 介護に関する相談、情報提供

高齢者やその家族が抱える悩みに対応するために、在宅介護や福祉用具、高齢者の保健福祉サービス等に関する相談、情報提供を行った。

⑦ 介護に関する相談対応	通年	シルバーセンター	指定管理事業	
			※	※
<p>①介護に関する相談 要介護者やその家族等を支援するために、福祉用具や介護に関する相談に対応した。</p>				

◆相談日：シルバーセンター休館日を除く毎日 ◆相談方法：電話、来所 ◆相談件数：2,131件（電話153件、来所1,978件） ◆内容別件数：4,870件（福祉用具3,234件、介護58件、住宅56件、制度370件、研修14件、就業16件、資格56件、その他1,066件）				
① 情報提供	通年	シルバーセンター	指定管理事業	
			※	※
①福祉用具の展示 ◆常設展示：ベッド、床ずれ予防関連用品、排泄用品、生活自助具、車いす等450点 ◆特別展示：11月11日の「介護の日」を記念した福祉用具の特別展示（認知症関連機器等） ◆利用者：5,761人 ②図書等の閲覧・貸出 介護、福祉用具、保健福祉サービス等に関する情報を提供するほか、図書・ビデオ・DVDの閲覧・貸出を行った。 ◆閲覧件数：図書 510件・ビデオ 8件・DVD 80件 ◆貸出件数：図書 128件・ビデオ 6件・DVD 42件 ◆保有数：図書1,173冊・ビデオ93本・DVD 64本（平成27年3月31日現在）				

※「1⑦市民向け介護講座」との共通予算

#### 4 地域展開・普及啓発

学校、企業、町内会等の団体からの依頼に応じた講師派遣、講座の企画・実施を通じて、認知症への理解を深めるとともに、介護に必要な知識・技術の普及啓発を行った。

⑦ 認知症サポーター養成講座 事務局運営	随時	市内各所	受託事業	
			※1	※1
認知症についての正しい知識普及、認知症の人や家族の応援、地域における見守り・理解者となる認知症サポーターの養成を目的に、講座開催を希望する学校、企業等からの依頼に応じて、養成研修を修了したキャラバン・メイトの派遣や教材手配を行った。 ◆実施回数：年213回 ◆参加者：7,840人				
⑧ 職域等向け介護研修	随時	—	自主事業	
			24,948	※2
介護に必要な知識・技術の習得を目的に、職域等（企業、商店組織、介護サービス事業者等）からの希望に応じた研修を企画・開催した。 ◆実施回数：2回 ◆参加者：24人				

※1「2⑦認知症介護研修」との共通予算

※2「2⑧介護職スキルアップ研修」との共通予算

公4 要介護認定及び障害支援区分認定に係る認定調査を行う事業	収益	345,896,421
	費用	346,055,421
	人件費	288,606,239
	物件費	57,449,182

番号	事業名	実施時期	会場	事業形態	
				収益	費用
事業内容					

(単位；円、費用；物件費)

⑦ 要介護認定訪問調査受託事業	通年	—	受託事業	
			55,753,043	55,753,043
<p>仙台市及び他市町村等から委託を受け、介護保険法及び生活保護法に基づく介護サービスの受給要件となる要介護認定のための訪問調査と介護認定調査票の作成を行った。</p> <p>①仙台市</p> <p>ア) 介護保険法に基づく要介護（要支援）認定調査</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆受理件数：39,501件（対前年度 667件増）</li> <li>◆実施件数：38,398件（対前年度 396件増）</li> </ul> <p>イ) 生活保護法に基づく介護扶助決定のための訪問調査</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆受理件数：289件（対前年度 12件減）</li> <li>◆実施件数：281件（対前年度 12件減）</li> </ul> <p>②他市町村</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆受理件数：860件（対前年度 11件増）</li> <li>◆実施件数：802件（対前年度 9件減）</li> </ul>				
⑧ 障害支援区分認定訪問調査受託事業	通年	—	受託事業	
<p>仙台市から委託を受け、障害者総合支援法に基づく障害福祉サービスの受給要件となる障害支援区分認定のための訪問調査を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆受理件数：1,378件（対前年度 202件増）</li> <li>◆実施件数：1,231件（対前年度 73件増）</li> </ul>				

【収益事業】

収 1	仙台市シルバーセンターの管理運営を行う事業	収益	82,992,488
		費用	82,992,488
		人件費	17,610,237
		物件費	65,382,251

番号	事業名	実施時期	会場	事業形態	
				収益	費用
事業内容					

(単位；円、費用；物件費)

㊦	ホール・研修室等の貸出 温水プール等の利用提供 センターの維持管理	通年	シルバーセンター	指定管理事業	
				65,382,251	65,382,251

①ホール・研修室等の貸出

- ◆貸出日数：342日
- ◆対 象：福祉団体及び福祉目的以外の催事
- ◆利用状況：

施設名	利用件数 (対前年度)	利用人数 (対前年度)
交流ホール	160件 (13件増)	25,981人 (3,859人増)
第1研修室	96件 (3件増)	8,480人 (445人増)
第2研修室	122件 (9件増)	6,127人 (206人増)
第3研修室	464件 (54件増)	4,758人 (378人増)
和 室	439件 (66件増)	4,063人 (165人減)
会 議 室	441件 (20件減)	3,950人 (207人減)
合 計	1,722件 (125件増)	53,359人 (4,516人増)

②温水プール・浴室・サウナの利用提供

- ◆貸出日数：306日
- ◆対 象：60歳以上の高齢者及び障害者以外の方
- ◆利 用 者：4,567人 (前年度比較 402人減)

③センターの維持管理業務

- ◆内 容：市民が安全に利用できるよう、センターを良好な状態に維持管理した。

収 2	生活習慣病予防・改善講座及び仙台市健康増進センターの管理運営を行う事業	収益	41,660,281
		費用	41,566,829
		人件費	18,884,992
		物件費	22,681,837

番号	事業名	実施時期	会場	事業形態	
				収益	費用
事業内容					

(単位；円、費用；物件費)

## 1 生活習慣病の予防・改善に関する講座

⑦ 健康づくり推進事業	通年	健康増進センター	自主事業	
			335,000	241,548
健康度測定受診者及び健康づくり講座参加者について、身体状況把握、効果測定等を目的とし、尿・血液検査を行った。また、身体活動量の目安把握のため、歩数計を配付した。 ◆血液検査：58人 ◆歩数計配布：141人				
⑧ 生活習慣病予防事業	通年	健康増進センター	指定管理事業	
			176,173	176,173
①メタボリックシンドローム予防教室 働き盛りの世代を中心に、生活習慣の見直し・改善に取り組み、メタボリックシンドローム予備軍の減少、適正体重者の増加を目指した。さらに早い段階で生活改善を促し、将来の生活習慣病予防を図り実施した。 ア) メタボリックシンドローム改善講座 ◆実施期間：平成26年10月2日～平成27年2月27日 ◆実施回数：12回 ◆参加者：延べ106人 イ) 新入社員の生活習慣病予防講座 ◆実施日：平成26年4月16日、10月1日 ◆実施回数：2回 ◆参加者：22人 ②ヘルスアップセミナー 健康づくりに必要な知識を習得し生活習慣を振り返ることで、自身の問題点に気づき、生活習慣改善につなげることを目的に幅広い世代向けのセミナーを実施した。また、セミナー参加者対象にフォローコースを設けて継続支援を行った。 ア) ヘルスアップセミナー ◆実施回数：11回 ◆参加者：141人 イ) ヘルスアップセミナーフォローコース ◆実施回数：5回 ◆参加者：21人				

## 2 公益目的事業以外に係る仙台市健康増進センターの管理運営

⑦ 施設利用事業	通年	健康増進センター	指定管理事業	
			22,264,116	22,264,116
健康づくりの場を提供し、市民の健康づくりを支援した。 ①健康情報の提供 ②施設利用 ◆対象：16歳以上で運動可能な市民 ◆実施回数：102回 ◆利用者：5,289人（障害者1,057人、高齢者2,865人、一般1,367人）				
⑧ 施設運営事業	通年	健康増進センター	指定管理事業	
			※	※
施設・設備の管理業務等を行った。				

※「⑦施設利用事業」との共通予算